

かいらく LIFE

新年



今年是我们，寅年的年！
「寅年」は「成長」や「始まり」の年と言われています。2022年は、新型コロナウイルス感染症が治まり、新しい日常が「始まる」年になってほしいものです。

新年を迎えて

支援課長 相澤照美
暦では、立春を迎えましたが、まだまだ寒さが厳しく例年以上に雪も多い様に感じています。
さて、「今年こそは新型コロナウイルスが終息し、安心して普通の生活を送ることができますように」と強い祈念により明けけた新年は早くも2カ月が経とうとしています。感染力が強い新たなコロナウイルスが猛烈な勢いで増えており、当園でも、これまでの通院やドライブ後のマスク交換や消毒、換気に加えて利用者の方に集まっていただいて行う行事も、感染リスクを下げる工夫を凝らしながら実施しています。2月3日の節分の行事も、職員が扮した鬼が居室を回る形で実施しました。また、買い物外出やこれまで外部講師を招いて実施していたクラブ活動も職員が講師を代行して実施したり中止としたりしてあります。そのような制限の多い生活の中でも、地域の飲食店から出前をとって好きな物を食べる機会を作ったり、ドライブの回数を増やす等、利用者の皆さまが季節や日々の楽しみを感じる事ができるよう、職員が工夫をしながら支援に努めています。
ご家族の皆様方は、直接頻りに会うことが難しくなり、色々心配されていることと思います。そのようなご家族様の不安な声や心配事に対しても、一つ一つ対応して参りたいと思いますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

自粛の中にも彩りを

個別支援外出
新型コロナウイルス感染症の感染者が少数で推移していた昨年秋、感染対策を徹底しながら、利用者様の希望に応じた外出を行いました。
自分の目で見て買い物する楽しさはひとしおの様子。
真剣な表情で商品を吟味されていました。

どれが良いかな？

新任・転出者紹介

令和4年2月1日付 転出職員
生活支援ワーカー
武山建 怡彩の郷へ

猪野 誠
新規採用職員
生活支援ワーカー

初めまして、猪野と申します。一生懸命頑張ります。宜しくお願いします。

今後の予定

- ホーム喫茶(週1回)
 - 園内販売(週1回)
 - 園内理髪・美容室(月1回)
 - 利用者懇談会(月1回)
 - おやつ作り(月1回)
 - ドライブ(週2回)
 - 供養会(月1回)
 - 立春を祝う会
 - 春彼岸供養会
-

福祉サービス第三者評価について

この度、当園では(株)福祉工房様による福祉サービス第三者評価を受審しました。今回受審するにあたり、あらゆる分野において再点検をする良い機会となりました。
評価総評の改善点において、個人情報の取り扱いやプライバシーの保護について、また利用者様の満足度の調査を実施した際の検証や検討に関する事、当園の規定類の見直しや改定を行うことなどをご助言いただきました。評価の結果については職員会議等で話し合い、現在改善に向けて取り組みを行っているところです。今後も、提供するサービスのさらなる質の向上に努めていきたいと思っております。

感謝を込めて

- 宮城県民共済生活協同組合様より、
・不織布マスク 6,000枚 寄贈
 - 大和町社会福祉協議会様を通して、
大和町の吉田婦人会様・吉田ボランティアの会様より、
・雑巾50枚、フェイスタオル20枚、
バスタオル2枚 寄贈
 - 仙台新生キリスト教会様より
・金5,000円 寄附
- 御心を寄せて頂き、
ありがとうございます。

なんでも相談窓口

- ・苦情解決責任者 園長 千葉 姿奈子
 - ・苦情受付担当者 課長 相澤 照美
 - ・第三者委員 保護司 二幡 俊道
 - ・TEL 022-346-2221
- 当園における相談や苦情などがありましたら遠慮なくお申し付けください。

お問い合わせ

なごみなの里地域福祉サービスセンター 養護老人ホーム 偕楽園
〒981-3623 宮城県黒川郡大和町小野字前沢 31-1
TEL: 022-346-2221 FAX: 022-346-2222
Eメール: nago021@miyagi-sfk.net
URL: http://www.miyagi-sfk.net/nago





★いちごのショートケーキ

利用者様から有志を募り、クリスマスケーキ作りを行っています。ケーキ作りに熱中！難しいクリームでのデコレーションもお手の物です。同じ材料を使っても、フルーツの並べ方やクリームの配置など一つひとつ個性が表れ素敵なケーキが出来上がりました。完成したケーキは、利用者の人数分カットし、昼食のデザートとして召し上がっていただいています。ご飯の前にケーキから食べる方もいらっしゃり、口元にクリームをつけてニンマリと笑っておられました。



★邪気を払い、新年をお祝い

1月7日（金）、毎年恒例の「新年会」が開催されました。一昨年までは、「新年会」がNTAによる歌や踊り、演芸等を楽しんでおりましたが、コロナ禍ということも鑑み、今年も職員による獅子舞踊り等のお祝い会と食事会の二部構成にて行いました。

食事は、ソーシャルディスタンスを保ちながら、楽しみにされていたお餅も振舞われ、「正月はお餅食べないね」と笑顔で召し上がっていました。また、「ノンアルコールビールを飲まれ「酔っぱらっちゃった」と冗談めかして笑いをとられる方もいらっしゃり、皆さま思い思いに箸を進められています。今年も楽しい感染対策を行いながら、今年も楽しいひとときとなりました。



★聖夜に歌声を♪
地域支援センターなどみな職員の協力してもらい、12月24日（金）クリスマスミニコンサートを開催しています。感染症予防のため、マスクを着用しての参加となりましたが、サンタクロースの登場に拍手でお迎えし、マスク越しに「きよしこの夜」等、皆で歌っています。職員もペンライトを振って場を盛り上げ、皆様「楽しかった」と笑顔を見せて下さっています。

★イルミネーション見学ドライブ
泉パークタウンの光のページェントの見学に、ドライブ外出を行っています。毎年12月の中旬頃に実施しており、利用者の皆様も楽しみにされています。今年も希望者を募り、2日間に分けて光輝くイルミネーションを見学に出発しています。「昔はこんなの無かったな」と感慨深げに、鑑賞されていました。

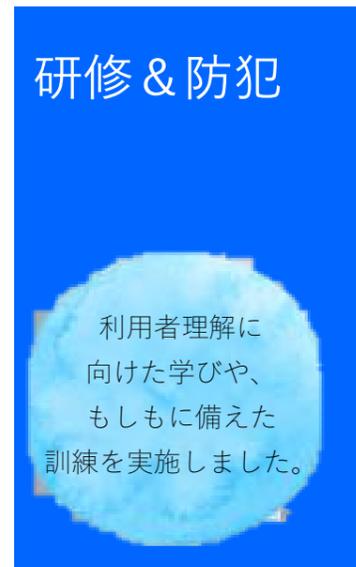
★子羊園との交流
毎年冬の季節には、泉区の小規模保育事業施設子羊園の発表会に招待され、園児たちと交流を図ってきましたが、コロナウイルス感染症の影響で、今年も見送る形となりました。そんな中、子羊園の皆さんから、可愛らしいクリスマス壁面飾りを頂きました。食堂に掲示し、いつも利用者の皆様に癒しを与えていただいています。



笑う門には福来る
～福笑いで初笑い～

“ひょっこ”と“おかめ”の顔パーツを目隠しで配置する福笑いを楽しまれています。出来上がった変顔に「なんだこの顔」とみんなで笑い合っています。

元気の秘訣はやっぱり笑顔！



★精神障害の理解と支援研修

11月26日（金）みやぎ心のケアセンター気仙沼地域センターの片柳光昭様を講師としてお招きし、職員研修会を行っています。精神疾患に関する基礎的な症状や機能障害、精神障害を抱える方々の生活体験としての「しんどさ」と、それに伴う支援で注意すべき点等を実践に基づいた視点から分かりやすくご講義いただきました。最後は、実際の事例についてアドバイスをいただき、利用者理解を深める事が出来ました。

★不審者対応防犯訓練
昨今、痛ましい事件がニュースになることも少なくありません。いつ何時、人的災害に合うか分からない「もしも」に備えて、1月18日（火）に大和警察署生活安全課のご協力のもと、不審者対応の講義をいただき、さすまたや傘、パイプ椅子を使用した模擬訓練を実施しています。警察署員の迫力満点のお手本を参考に、緊急対応の心構えと技術を学ぶことが出来ました。



★鬼は外、福は内

節分とは、一般的に邪気を払い、無病息災を願う行事といわれています。古より、「季節の変わり目は邪気が入りやすい」と考えられ、また「この時期（2月上旬）はまだ寒く体調を崩しやすい」ことから新年を迎えるにあたって、邪気を祓い清め、一年間の無病息災を祈る行事として行われてきました。偕楽園でも節分の豆まきは恒例行事として毎年行っています。今年は、新型コロナウイルス感染症予防のため、集会所での集まりは控え、職員扮する鬼が廊下を練り歩き、居室を訪問する形での節分となりました。



また、昼食は節分メニューの恵方巻。献立表が出た日から指折り数えて楽しみにされていた利用者様もいらっしゃいます。今年度の恵方の北北西を向いて、幸せを祈りながら召し上がっていました。